

休眠預金等活用事業「福岡子ども若者、困窮者応援笑顔創造事業」実行団体公募採択事業一覧

事業名	団体名	所在地	代表者	助成額	事業内容	講評
困窮する子育て世帯への切れ目のない応援事業	特定非営利活動法人チャイルドケアセンター	大野城市	代表理事 大谷清美	5,930,850	子育て支援は生まれる前から始まっていると考え、産前産後ケア、コロナ対策を講じた子どもの居場所づくり、コロナ禍で一層困難を強いられる保護者の就労等への相談事業を実施する。コロナ禍において社会的に弱い立場にある子ども及び保護者の状況が一層厳しい状況に置かれていることから、産前からの母子父子支援を切れ目なく行い、虐待に発展する状況に陥ることがないように体制を整え、児童虐待、子どもの貧困などと無縁な社会づくりに貢献することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 産前産後のケアについては、コロナ禍により今まで以上に重要性が叫ばれている取り組みであり、本助成事業の目的とも合致する。また、事業内容や目標設定などについて、定量的、定性的に具体的な説明がなされており、高い確度で事業が実施され、目標が達成されるという期待を抱いた。 本助成事業をきっかけに、既の実施している他の取り組みと併せて、切れ目のない子育て、子どもへの支援体制が構築されることを期待したい。
仕事里親ネットワーク構築事業	NPO法人国際教育支援機構スマイリーフラワーズ	福岡市中央区	理事長 窪田広信	4,016,800	法人設立から10年間に渡って取り組んできた自立の為の準備支援に繋がる、社会人としての就労定着を目的とした就労支援事業です。当事業では社会的養護から自立する若者が抱える課題（保証人の有無や住まいの問題、社会経験の少なさや養育背景からくる性格の課題など）を理解した上で雇用し、また社会人として育成してくれる雇用主(仕事里親)のネットワーク構築を目指して、登録企業には就業希望者の情報提供並びに面談設定に加えて、定期的な勉強研修会、受入体験、受入企業情報交換会などの機会を提供し、理解者としての企業を育成していきます。また施設及び退所者には登録企業の紹介を行い、就労定着まで長期に伴走し支援します。	<ul style="list-style-type: none"> 経済の先行き見えず雇用が絞られる中で、対象者のような子どもたちの就労、その継続は重要な課題であるため、施設退所後のフォローには大きな意味がある。また、取り組みの内容や過程についても丁寧に記述された事業計画であり、事業の概要が容易に理解できた。 仕事里親の事業への理解、確保、継続が本事業の課題であると考えられるため、子どもたちのフォローと平行して、企業とのコミュニケーションに十分な手間と時間をかけて欲しい。
じじっかファミリー	一般社団法人umau.	久留米市	代表理事 佐藤裕理子	7,382,000	ひとり親家庭を中心に生活保護受給家庭、障がいのある人がいる家庭など支援が必要とされる親子を対象に、暮らしの好循環を生み出すプログラムを構築します。当事者同士の活動の中から小さな声を拾い集めたことで導いてきた「支援の隙間」を自分達で埋めていくことと、「当事者としての自覚」を合せる仲間がいることで支援される側としての意識だけではなく、お互いに支え合い相互扶助となる仕組みをつくり、ネットワーク拡大を目指します。更に会員が増えていくことにより、節約につながる相互扶助サービスを増やし、子ども達の成長をたくさん大人の大人と見守り、貧困の生活状態を改善し、自立した活動へと繋げていきます。	<ul style="list-style-type: none"> 社会の情勢や自団体の活動経験も踏まえ、支援者の発掘と育成までも視野に入れた「じじっか」というコンセプトの重要性、それを実現するための具体的な活動内容など明瞭に示され、一貫性が感じられる事業計画であった。 被支援者への支援はもちろん、支援者である「じじっかファミリー会員」の発掘や育成が本事業の要点が必要となるため、多様で多数の個人・組織のマネジメントには十分留意して事業を実施して欲しい。
生きる力を育む子どもの居場所づくり事業	一般社団法人Kids Code Club	福岡市中央区	代表理事 石川麻衣子	3,893,400	新しい生活様式に合わせたオンラインのプログラミング学習コミュニティを構築して、子どもたちへ学びの機会、居場所や交流の場、活躍の機会を提供し、孤立と無価値感を解消。次代を担う世代が心の貧困に陥らないようサポートするだけでなく、これからの時代に必要な21世紀型スキルや創造力などの生きる力も同時に育む。また、保護者も一緒に学べる機会を提供することで、親子のITリテラシーを底上げし、子どもの学びや様々な体験へのIT活用に対する保護者の理解と、親子のコミュニケーションを促進。様々なオンライン支援の機会に積極的に参加できるよう、ITへの苦手意識や不安の解消を目指してサポートする。	<ul style="list-style-type: none"> 人が生きていくための多様なサービスがオンラインで提供されるいま、ITリテラシーを身につけている、もしくは苦手意識を持たずITを使おうとする姿勢は、子どもたちに求められる最低限の能力・資質であり、それを多様なプログラムで育てようとする事業は社会の潮流に合致する。 多様なプログラムが企画されているが、目標である300世帯の親子がITにかかる苦手意識を克服するためには、一方的なプログラムの実施に加えて、きめの細かいフォローに努めて欲しい。
孤立させない！子供が選べる居場所	一般社団法人OMUTABRIDGE	大牟田市	代表理事 菅原知之	4,702,650	対話を通じた関わりを基軸に、子どもが安心して語り繋がることのできる安全な機会や経験を提供し、レジリエンスを高める「第三の居場所」を創造する。 1) 寺子屋(オンラインの居場所と学習支援事業)では、中学生前後を対象に学習支援や心理的サポートの出来る安全な場を平日夜に週2回、決まった時間に運営し自由に入出力できる空間を提供することで孤立の軽減を図る。2) PReIS(要保護児童を対象とした生きる力を高めるオフライングループワーク事業)では、ヤングケアラーの問題などを抱えた子どもを対象に、心理教育、SST、CBTなどのプログラムを通して、家庭環境に影響されない知識や生活力や選択する力を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの日常がコロナ禍によって見えにくくなる中で、オンラインツールを活用した居場所づくりや学習支援などの必要性、取り組みの内容や多様な専門家との連携体制などが丁寧に説明されており、取り組みの様子がイメージできた。 将来の事業展開にかかる記述が必ずしも十分ではないと考えられるため、人やモノなど継続するための条件が一定整備された後の展開について検討した上で事業を実施して欲しい。
働くことが不安な人及びその家族のための支援事業	NPO法人発達障がい者就労支援 ゆあしつぷ	春日市	理事長 桑原由美子	4,074,300	コロナ禍で真っ先に影響を受けやすい“就労弱者”(例えば、引きこもり、発達障がい、何らかの配慮が必要な方)は、働くことに不安を感じ行動を起こすことに躊躇している。本事業は働くことが不安な人“就労弱者”及びその家族に対して、社会に出て働くために必要なこと、どのような仕事内容や職場環境があるのか等を知ってもらうための事業を行う。 1. 専門の講師を招き社会の現状を学ぶ講座の開催 2. 働くために一般的なビジネスマナーや心構えを学ぶ 3. オンライン企業スタディツアーの開催 福岡の企業を訪問し、仕事内容や職場の紹介をしてもらう 本事業では、“就労弱者”とその家族に求人内容だけではわかりにくい職場や作業の実際及び、そこで働くためにどのようなスキルや準備が必要なのかを知る機会を作り、安心して就職活動ができるようサポートするものである。	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる人々が自身の仕事や生活の将来に不安を感じる中で、就労弱者にとって今まで以上に就労すること、就労し続けることが難しい時代となっており、就労弱者本人はもちろん、彼らの家族を含めて、社会の情勢を学ぶ講座からオンライン企業スタディツアーの実施は、就労や就労の継続にとって重要な取り組みである。 本事業が提供しようとしている就労弱者の支援にかかる仕組みが地域に埋め込まれて安定して機能するためには、就労弱者の仕組みへの参加を促す学校、行政、社協や親の会、就労弱者の見学や実習を受け入れるサポーター企業との信頼関係が欠かせないため、これらとの密な情報交換を通じた信頼関係の構築に努めて欲しい。